



急性中耳炎

急性中耳炎とは？

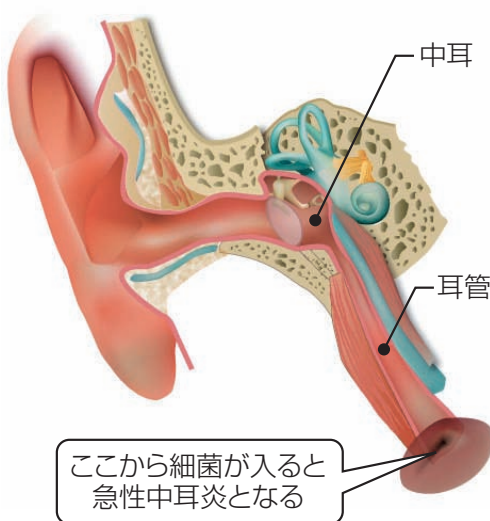
細菌などの病原体の感染によって引き起こされる耳の炎症です。鼓膜の内側の中耳という場所に膿がたまる病気なので中耳炎と名前がついています。

風邪で鼻やのどの炎症が起きているときに併発しやすい病気です。耳と鼻をつないでいる耳管という管があります。風邪をひいてきたない鼻汁が出ているとき、鼻汁の細菌が耳管を通して中耳に入ると粘膜に急激に炎症をひきおこします。これが中耳炎です（図1）。

子ども、特に小さな子どもに多い病気です。小学校の入学までに2／3の子どもが一度は中耳炎にかかるといわれています。子どもが耳を強く痛がっている場合、9割以上は中耳炎が原因と考えてよいと思います。

たいへんよくみられる病気で、耳鼻咽喉科で外来をしていると、急性中耳炎を診ない日はまずありません。

図1 耳管と中耳



あさひ町榊原耳鼻咽喉科医院 榊原 昭 先生のHPより

症 状

主な症状は3つです。

1. 激しい耳の痛み。転げまわるほどの激痛である場合も多いです。乳児などでは痛みを訴えられないために、機嫌が悪くぐずったり、しきりに耳に手をやったりすることがあります。
2. 発熱。38℃以上の高熱がでることもよくあります。
3. 難聴。聞こえにくい。こもった様な感じになります。

また耳だれ（膿）が出てきたり、嘔吐などがみられたりする場合もあります。

風邪をひいているときにこのような症状が出た場合は中耳炎である可能性が濃厚です。

診 断

鼓膜を見ればすぐに診断がつきます。鼓膜は正常では半透明～乳白色でわずかにへこんでいるのですが（写真1）、中耳炎になった場合は赤く腫れた状態となっています（写真2）。一部に水泡（水ぶくれ）がみられることもあります（写真3）。また鼓膜の一部がやぶれると耳だれが出てきます。

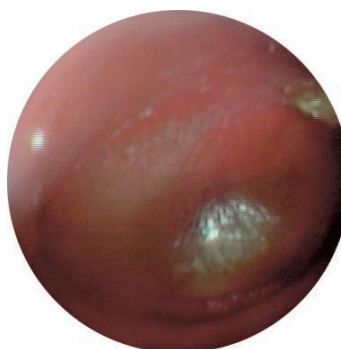
写真1 正常鼓膜（右耳）



今年は残暑が厳しく季節のリズムが違うのかもしれませんが、山が紅葉や蔦で粧う季節になりました。身体にも時間リズムがありますので、体調を崩さないようにしてください。

今月は『急性中耳炎』と『医薬品の進歩』について特集をくみました。ぜひ、ご覧になって、健康管理に役立ててください。

写真2 急性中耳炎（右耳）



鼓膜が赤くふくれています

写真3 急性中耳炎（左耳）



鼓膜に水泡ができています

写真1～4 笠井耳鼻咽喉科クリニック 笠井 創 先生のHPより

治 療

抗生物質や痛みどめの飲み薬を使います。風邪をひいていることがほとんどなので、その治療（風邪薬の内服）も行います。点耳薬（耳に入れる液体のお薬：抗生剤やステロイド）を併用することもあります。炎症が強いときや、痛みが強いとき、またお薬を飲んでも治りが悪いときは鼓膜に小さな穴をあけて膿を出す治療（鼓膜切開）を行うこともあります。

きちんと治療しなければ滲出性中耳炎（写真4）に移行してしまうことも多く、また治療が遅れたり急性中耳炎を繰り返したりしていると、慢性中耳炎に移行してしまうことがあります。いずれにしても、耳鼻咽喉科で完全に治ったといわれるまで、きちんと治療を受けることが大切です。

中耳炎にかからないようにするには、風邪をひいたらなるべく早めに治すことが重要です。鼻やのどに炎症がおきて、鼻汁や咳・たんが出る状態が長引くときは、耳鼻咽喉科で治療を受けるとよいでしょう。また、鼻のかみ方が悪いと細菌を耳の中に押し込んで中耳炎をおこすことがありますので、鼻をかむときは片方ずつゆっくりとかむようにしてください。

なお、中耳炎がある状態でプールに入ると炎症が悪化しますので、完全に治って医師の許可があるまで泳ぐのはやめましょう。

（相模原市医師会 原口 秀俊）

写真4 滲出性中耳炎（左耳）



鼓膜の内側に水が溜まっています。

相模原市内科医会 市民公開講座

あなたのいびき大丈夫ですか？

～睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病～

日 時 平成25年1月19日（土）午後3時～4時30分
場 所 相模原南メディカルセンター 2階 大会議室
講 師 高田信和先生（相模原市内科医会・東大沼内科クリニック）
入場無料、事前申込不要、定員先着150名
詳細は、次号の健康さがみはら1月号・相模原市医師会のホームページをご覧ください。

相模原市医師会

検索

お問い合わせ 相模原市医師会事務局 ☎042-755-3311

医薬品の進歩

～より飲みやすく、より効きやすく～

「1日3回」は、もう古い？

少し前までは、飲み薬というと「1日3回、毎食後」という飲み方が一般的でした。しかし、近年は研究が進んだおかげで、1日1回でよい薬、さらに週1回や月1回などという薬も登場してきています。

基本的に、薬の効果は血液の中の薬の濃さ、「血中濃度」で決まります（例外があります）。血中濃度は、飲み薬を飲んで少し経ってから上がり始め、ある程度まで上がると代謝されるなどして下がってゆきます。濃度が下がりきってしまうと、効果が発揮されなくなり、この状態を「薬（の効果）が切れた」などと表現したりします。

いままでは、血中濃度を1日中、有効なレベルに保っておくために、1日2回から3回飲む必要がありました。しかし、薬を1日3回飲むというのは、けっこう大変なことです。誰でも1度くらいは、つい飲み忘れてしまった経験があるのではないのでしょうか。そこで最近では、飲む回数を少なくしながら血中濃度を保っておく様々な工夫が凝らされているのです。

実はハイテクな飲み薬

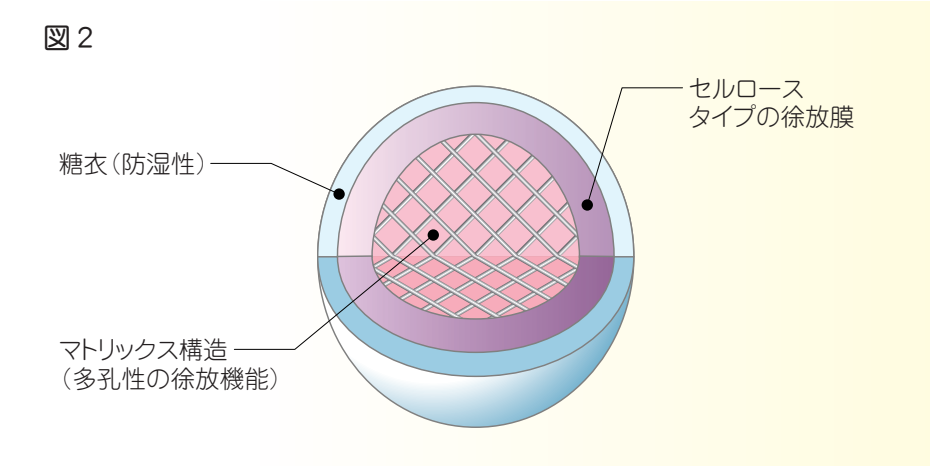
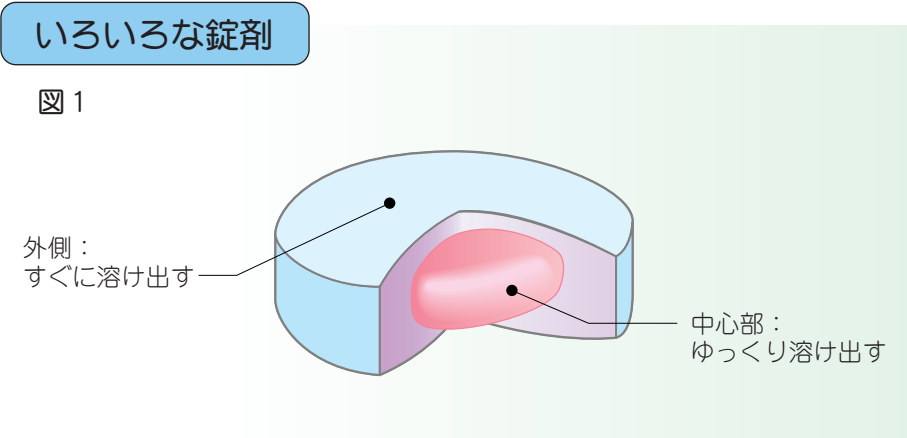
まず、錠剤にゆっくり溶けるような仕組みを持たせる方法があります。ゆっくり溶けることで血液中に薬が持続的に入ってゆくので、何回も飲む必要がありません。この仕組みには、いろいろなタイプがあります。

センター入りキャンデーを口にしたことはありませんか？中心部にゼリーやソーダパウダーなどが仕込まれていて、それをキャンデーでくるんであるようなお菓子です。それと似たような構造で、錠剤の外側と中心部とで溶ける時間をずらしたり、溶ける条件を変えたりといった工夫を仕込んだもの（図1）。

チョコチップクッキーのように、粒状のゆっくり溶ける成分（チョコチップ）を、すぐ溶ける成分（クッキー部分）のなかに散らばらせたもの。先にクッキー部分が溶け、その後にチョコチップ部分が溶けていく仕組みです。

ジャングルジムのような格子の中心に薬を仕込んでおき、少しずつ放出されるようにしたもの（図2）。このタイプの薬は、便に薬の抜け殻が排出されることがあります。

これらの薬は、かみ砕いたり潰したりすると、その仕組みが壊れてしまいます。本来ならばゆっくり効いているはずの成分が急激に血液中に入り、場合によっては危険なこともあります！ ご注意ください。



工夫されているのは、血中濃度だけではない

ある抗菌薬は1日1回の服用でよく、3日間飲むと効果が1週間続きます。これは、薬が白血球の中に取り込まれ、白血球が死ぬ時に薬を血液中に放出するために、血中濃度が高く保たれ抗菌力が持続する、という仕組みになっているのです。

別の抗菌薬は、最近になって飲み方が変更になりました。それまでは1日3回飲む必要があったと考えられていたのですが、そうではなく、はじめに目一杯血中濃度を上げておくほうが高い抗菌力を得られる、という研究結果から、1日1回の服用方法になったのです。

おわりに

薬の開発技術は日々進歩しており、またヒトの代謝機能とのかかわりも研究が進んでいます。薬を飲む煩わしさは少なくなったかわりに、飲む時に注意が必要な薬も増えてきました。気になることがあったら、お気軽に薬剤師にご相談ください。

（相模原市薬剤師会 鷲山 毅）



休日・夜間の急病診療制度の利用

まず、かかりつけの医師に相談してください。かかりつけの医師が不在、近所の医療機関で診療が受けられない方は

市民のみなさんへお願い

- ◇診療可能な医療機関を案内します。
- ◇医療相談・歯科案内は行なっておりません。
- ◇急病で困ったときに利用してください。
- ◇**応急診療**が目的ですので、翌日はかかりつけの医師または近所の医師の診察を必ず受けてください。
- ◇**健康保険証**を必ず提示してください。されない場合は自由診療扱いとなり、費用が高額になります。
- ◇救急車は、生命に危険が生じた患者さんを一刻も早く運ぶためのものです。安易な利用は避けてください。
- ◇**歯科の急病**については**休日急患歯科診療所** 042 (756) 1501へ（ウェルネスさがみはら2階）
- ◇**服用している薬がある場合は、お薬手帳もしくは処方された薬をお持ちください。**

042(756)9000 相模原救急医療情報センターへお電話してください。

	午前9時	午後1時	午後5時	午前9時
平日	電話受付時間	電話受付時間	電話受付時間	電話受付時間
土曜日	電話受付時間	電話受付時間	電話受付時間	電話受付時間
休日	電話受付時間	電話受付時間	電話受付時間	電話受付時間